

イエスから目を離さないで

2025年6月1日

ヘブル人への手紙 12章2～4節

ピリピ人への手紙 2章1～11節

序：キーワードは、「忍耐」

神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。10・36

忍耐を経験した旧約&中間時代の信仰者たち 11章

ヘブル人（ユダヤ教からの改宗者、ローマ帝国各地に離散していた聖徒たち）への
信仰生活の勧め・励まし 12章

12・1 信仰生活＝競走 忍耐をもって走り通す、完走するように

と、

I. 競走の目標・ゴールに目を注ぎ続けよ

イエス・キリスト

(1)信仰の創始者（先導者）

御父に信頼し従い通された 十字架上の死に至るまで ピリピ 2・8
あなたのみこころのとおりにより…（ゲッセマネの祈り）
マルコ 14・36

主イエスを信じた者への先導

(2)信仰の完成者（全うする者）

苦難を経て全うされた道 = 信仰は道・道程

主イエスを信じた者も同じ道を辿って全うされる

旧約の聖徒にとってもイエスは信仰の先導者（先在の神の御子、来るべきメシア

新約の聖徒：人となって来られた救い主は信仰の先導者、完成者

来るべきメシアを信じて救われた（初臨以前の信仰者）

すでに来られたメシアを信じて救われた（初臨以降の信仰者）

Ⅱ．十字架を忍ばれたイエス

(1)十字架刑は最大の辱め

極悪人への極刑 衆人の前にさらしもの ↔ 無罪のきよい神の御子
嘲笑、あざけり……神のお気に入りなら、救っていただくがいい……

十字架から下りて来い……

死ぬまでに長時間苦しむ、衆目にさらされ、侮辱を受ける

イエスは神と神のみこころに従う者が受けるべきものとして忍ばれた

(2)ご自分の前に置かれた喜びのゆえに忍ばれた ヨハネ 15:21、16:20~24、17:13

∴神の右の坐に着かれる：信仰の道が全う

神の民（子ら）が罪を赦され、義とされ、神との関係を回復する

神のご計画が実現する

ご自分の民とその喜びを共有する

(3)信じた者が神に近づくただ一つの道（イエス：大祭司&いけにえの子羊）開く

苦難を経て全うされる

辱めを忍び通す

Ⅲ．キリスト者の歩む道

(1)主イエスが先導し、完成された道を歩み通す者

信仰者は試練を受ける、迫害にも遭う（主がそうであったように）

(2)罪人たちのご自分に対する反抗を耐え忍ばれた主イエスのことを考えよ

元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするため

(3)御子が御父に全く信頼し従順であられたように、信仰と服従によって神とともに歩む

(4)勝利と栄光が約束されている

黙示録 3・21

勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。」

こんな場合、主イエスならどのようにお考えになるか = 主とともに結ばれ歩む

語られるか

行動されるか

私も同じようにする